

ち い き す い し ん ど う ろ と う せ い び
地域づくりを推進する道路等の整備

(第1回変更)

ひろしまし
広島市

平成28年3月

社会資本総合整備計画

平成28年3月29日

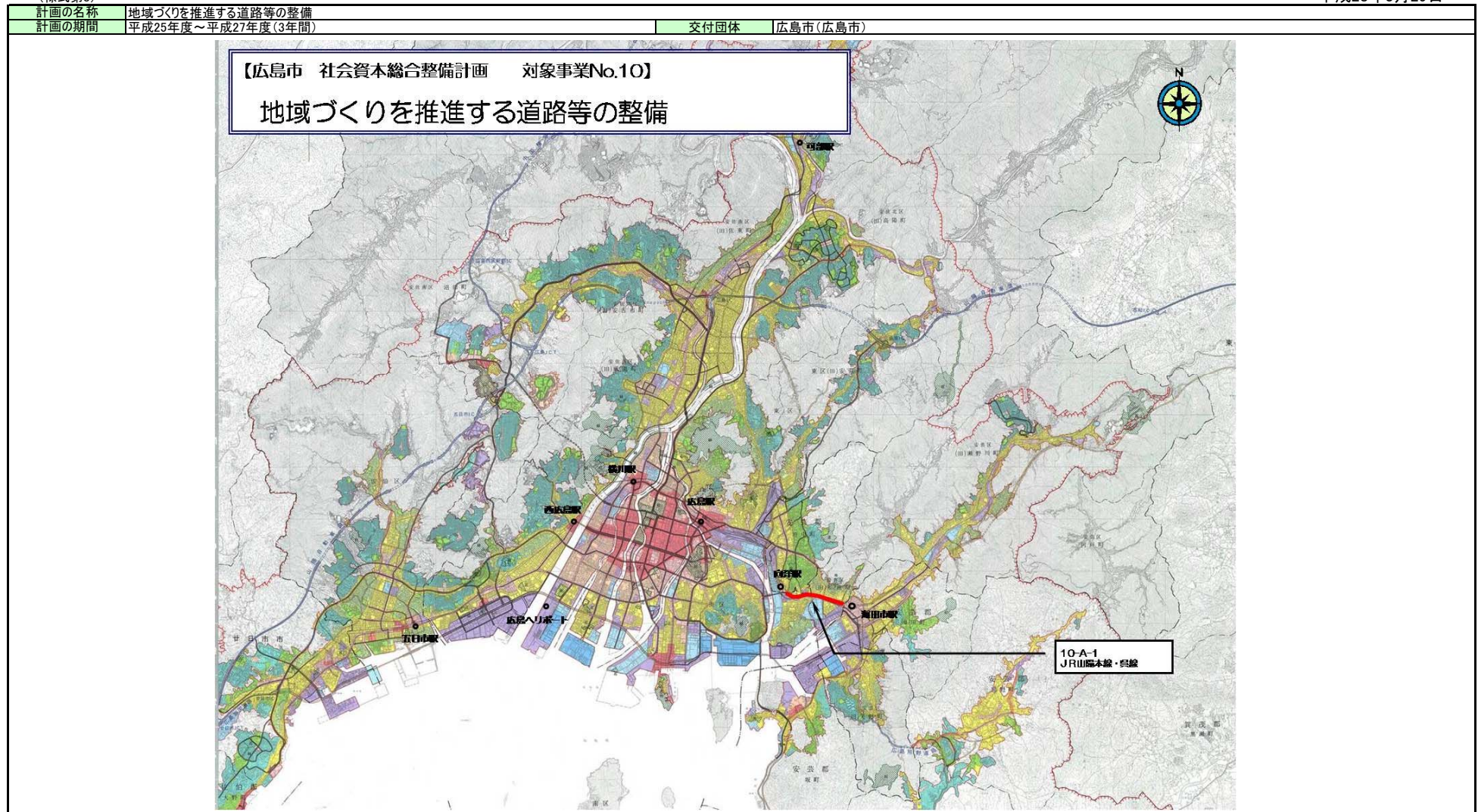
計画の名称	地域づくりを推進する道路等の整備							
計画の期間	平成25年度～平成27年度(3年間)			交付団体	広島市			
計画の目標								
連続立体交差事業と合わせて関連する幹線道路等の整備を行い、踏切事故や踏切遮断による渋滞を解消するとともに、道路網や沿道の良好な市街地の形成を推進する。								
計画の成果目標(定量的指標)								
- 対象事業区域における広島市域の踏切交通遮断率〔12時間:7時～19時〕を45.5%(H24)から0%に低減する。 - 広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「目的地への行きやすさなど、道路の整備状況の満足度」を向上させる。								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考	
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)		
踏切交通遮断率を整備前後で比較する。 踏切交通遮断率(%)＝踏切交通遮断時間(7時～19時)／12時間(7時～19時) 実態調査の「目的地へ行きやすい道路整備」という道路整備状況の満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合(%) (道路の整備状況の満足度)＝(「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数)／(実態調査の当該項目の全標本数)				45.5%	45.5%	一※	※H27末の目標値は、事業の完了が見込めないため未定としているが、事業完了後の最終目標値は0%である。	
				52.2%	現況水準より向上	現況水準より向上		
全体事業費	合計 (A+B+C)	525 百万円	A	525 百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
10-A-1	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	JR山陽本線・呉線	連続立体交差 L=1.9km	広島市						525	
合計																525	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
10-B-1																	
10-B-2																	
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
10-B-1																	
10-B-2																	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
10-C-1																	
10-C-2																	
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
10-C-1																	
10-C-2																	

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

平成28年3月29日



社会資本整備総合交付金チェックシート
(汎用タイプ)

計画の名称: 地域づくりを推進する道路等の整備
都道府県名: 広島市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○